

関市総合防災訓練を実施します

日時 10月24日(土)
午後6時～



照会先 危機管理課 ☎ 23 - 7736

皆さんは災害が起きたとき、誰と、どこへ、どのようにして避難するか、また災害情報や救護をどこへ知らせたらよいか知っていますか？

今回の総合防災訓練は、東南海地震が夕方、発生したことを想定して、全市を挙げた避難訓練を実施します。

4. 避難場所へ

《隣近所に声かけて、みんなで避難》

- ・隣近所に声をかけてみんなで避難してください。
- ・あなたや家族を助けてくれるのは隣近所の方です。
- ・隣近所の方を助けるのはあなた自身です。
- ・災害弱者（災害時要援護者）を助けるのはあなたです。

1. 緊急地震速報(午後6時)

《自らを守る・家族を守る》

- ・市内全域で同報無線やエリアメールなどにより緊急地震速報を流します。
- ・大声で家族に声をかけて、倒れてきそうな家具から離れましょう。

3. 屋外へ避難(揺れが収まったら)

《家族の安否確認・非常持出袋》

- ・地震の揺れが収まったら(サイレンが鳴り止みます)、避難開始してください。
- ・家族の安否を確認して、非常持出袋などを持って、家族で避難してください。

※今回の訓練は夕暮れですので、懐中電灯や夜光タスキを身に付けるなど、身の安全を守って、避難しましょう。

2. 東南海地震発生(想定震度6弱)

《慌てずに行動を》

- ・市内全域で同報無線により、地震で揺れている間、サイレンを鳴らします。
- ・最初の大きな揺れの間は慌てず、落ち着いて机の下に隠れるなどして、自分の身や家族を守りましょう。

県内初!!

関市では緊急速報「エリアメール」 (災害・避難情報) サービスを開始します

緊急速報エリアメールとは

気象庁が提供する緊急地震速報や市町村が提供する災害・避難情報を携帯電話のネットワークを介して、特定の地域に一斉発信するメールサービスです。

関市では、NTTドコモと契約し(※)、避難勧告や土砂災害警戒情報などの災害・避難情報を緊急速報「エリアメール」により提供するサービスを県内で初めて開始します。

※現在、NTTドコモのみが、このサービスを開始しています。

サービスを利用するには

- ・エリアメールを受信するための事前申し込みなどは特に必要ありません。
- ・エリアメール受信にかかる月額使用料や通信料は必要なく、無料でサービスを受けることができます。
- ・対応機種の詳細(※)については、近くのドコモショップなどでお問い合わせください。

※対応する機種については、メール設定内にエリアメールと記載のあるものです。

docomoSTYLE/PRIME/SMART/PROseriesについては事前設定なしで利用できます。



▲緊急情報のイメージ

6. 自主訓練開始

《初期消火・応急救護訓練》

- ・初期消火訓練や応急手当訓練などの各種訓練を開始してください。
- ・地震のときの避難について話し合ってください。

7. 解 散

《家族で防災会議》

- ・自主防災会長の指示により解散してください。
- ・せっかくの機会ですので、帰宅したら家族で防災について話し合ってください。

※家族が離ればなれになったときの避難場所や連絡先を確認するのも一つです。

※安否確認の連絡にNTT災害伝言ダイヤルを利用するなど、話し合ってみましょう。

※避難訓練終了後、午後7時から旭ヶ丘小学校で各種体験型訓練を実施します。近隣の自主防災会は参加してください。

5. 避難場所へ到着

《避難報告》

- ・避難所に到着したら、自主防災会長に避難したことやけが人などの状況を伝えましょう。
- ・会長は、自主防災会の避難状況や被害状況を取りまとめ、災害対策本部各支部に報告してください。

※避難場所が明るいとは限りません。みんなで声をかけましょう。

※携帯電話などが通じるとは限りません。いろいろな方法で報告してみてください。

自主防災会で準備するもの

- ・自主防災会旗(1旗) ※自主防災会名を記入
- ・ハンドメガホン(1台) ※電池を確認
- ・腕章(9種)
→ 会長・副会長・情報・消火・救出救護・給食給水・水防・女性
- ・記録報告のための筆記用具

注 意 事 項

1. 避難行動は基本的に徒歩でお願いします。今回は夕暮れの訓練になるため十分に注意してください。
2. 自主防災会が指定する避難所に変更がありましたら、至急ご連絡ください。

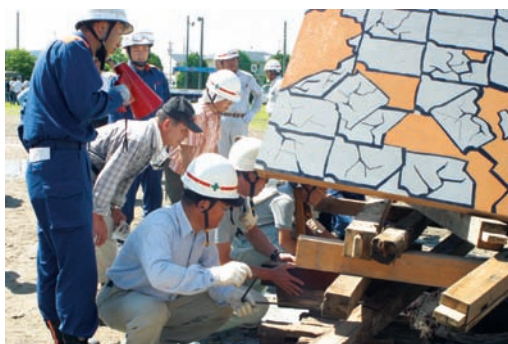
関市総合防災訓練 主会場の旭ヶ丘地区(旭ヶ丘小学校)では

主会場となる旭ヶ丘地区では、各自主防災会の避難訓練終了後、そのまま旭ヶ丘小学校に移動し、午後7時から住民が参加する各種の体験型訓練を開始します。

実際の災害時に必要となる訓練や体験ばかりです。ぜひ、家族みんなで参加しましょう。

＜主な内容＞

- 自動車積載のジャッキを利用して、倒壊した家屋から負傷者を救出する訓練
- 粉末消火器を使用して、実際に火を消す初期消火訓練
- 被災により負傷した人を手当てする応急手当訓練
- AED（自動体外式除細動器）取り扱い訓練
- 防災備蓄倉庫に保管されているアルファ米を実際に炊き出し、持ち運んで試食する訓練
- 災害伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言板の体験
- 救急シート（携帯用の救急毛布）体験



▲住民で力をあわせて救出する訓練



▲いざというとき役立つ応急手当の訓練



◀アルファ米の炊き出し訓練

昨年の総合防災訓練 (富岡地区)の様子



▲一度は経験しておきたい初期消火訓練



◀誰でもできるAEDを体験



▲経路の安全を確認しながら避難する訓練